

**第3次熊本市地域福祉計画・熊本市地域福祉活動計画の検証結果  
及び第4次熊本市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定について**

健康福祉政策課

# I. 第3次熊本市地域福祉計画・熊本市地域福祉活動計画の検証結果について

第4次計画策定にあたり、第3次計画に記載している各取組を検証し、課題を抽出しました。第4次計画の計画期間においても、これらの課題の解決に向け、引き続き取り組みます。

## ▶ 第3次計画の振り返りから見える課題

### 課題① 支え合い活動を推進する人材の確保

- 民生委員・児童委員が不足している。
- 校区社会福祉協議会の活動の担い手が不足している。
- 地域生活支援員・市民後見人養成講座を受講しても、その後の活動に結びついていない。

### 課題② 住民主体の活動の活性化

- 高齢者健康サロンへの参加者が固定化している。また、男性の参加者が少ない。
- 子どもたちが健やかに成長できる環境づくりの成果指標である「地域での子育て支援活動に参加した市民の割合」が、令和元年度（2019年度）では11.0%と基準値（平成25年度（2013年度）：18.2%）よりも低くなっている。

### 課題③ 地域福祉活動への意識の醸成

- 民生委員・児童委員が自治会長を兼務する等、地域活動の担い手が固定化している。
- 地域において食生活改善を推進するボランティアである「食生活改善推進員」と歯科保健を推進するボランティアである「8020推進員」の養成を行ってきたが、各推進員の高齢化が進み、健康状態や家庭の事情により、活動の継続が困難となるケースがみられる。

### 課題④ 様々な課題を包括的に受け止める相談支援体制の整備

- 生活困窮者の支援において、生活自立支援センターを中心とした専門機関の連携が行えるよう、個別支援を通しての連携だけではなく、各関係機関と日頃からの関係性を構築し、連携体制をより強固にする必要がある。
- 障がいのある人の高齢化等を見据え、地域住民や関係機関と連携し、様々な相談を包括的に受け止める相談支援体制等の構築が必要なため、その整備に引き続き取り組む必要がある。

## 2. 第3次熊本市地域福祉計画・熊本市地域福祉活動計画の主な成果指標

第3次計画の主な成果指標の推移については、下表のとおりです。

項目	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	
民生委員・児童委員の定数に対する充足率	96.4% (H26)	96.6%	95.1%	95.2%	95.1%	89.8%	100% (R1)
地域での子育て支援活動に参加した市民の割合	18.2% (H25)	18.1%	14.1%	10.5%	12.3%	11.0%	26.0% (R1)
健康づくり推進に関するボランティア数	1,327人 (H24)	1,467人	1,486人	1,536人	1,674人	1,674人	3,000人 (R1)
過去1年間に地域活動に参加した市民の割合	46.7% (H24)	46.8%	39.1%	40.6%	41.2%	42.3%	60.0 (H30)
支援を実施したことで生活困窮から脱却される方の数	34人 (H26)	45人	49人	76人	84人	112人	82人 (R1)

### 3. 第4次熊本市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定について

令和元年度（2019年度）に、策定委員の皆様や関係機関のご協力のもと、「第4次熊本市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定することができました。引き続きお力添えをよろしくお願いいたします。

#### 第4次熊本市地域福祉計画・地域福祉活動計画の概要

本市における「地域共生社会」の実現におき、地域住民をはじめ行政や各関係機関が支え合い、一人ひとりが生きがいを持って、地域をともに創っていくための基本方針や取組をまとめたもの

#### **[基本理念]** だれもが「おたがいさま」で支え合う協働のまちづくり

##### 基本方針① 地域力強化のための人材の確保・育成

支え合い活動の推進を担う人材を確保するため、以下の2つの取組を推進します。

- 1) 支え合い活動などに現在も取り組んでいる民生委員・児童委員やボランティアなどを支援する取組
- 2) 地域における様々な活動に対する意識を醸成するなどの新たな人材の確保に向けた取組

##### 基本方針② 支え合いの地域づくり

地域における支え合い活動をさらに活性化するため、以下の2つの取組を推進します。

- 1) 生活している地域を基盤としたコミュニティの活性化や地域と行政・各関係機関との連携強化を推進する取組
- 2) 生活するうえでの地域の課題を住民が共有し、その解決に向けた住民主体の活動を支援する取組

##### 基本方針③ 多様な主体の連携・協働の推進

住民・地域団体・事業者などを含む地域全体で支え合う社会の実現のため、以下の3つの取組を推進します。

- 1) 複合的な課題を抱えた方や世帯などに対し、行政と各関係機関が連携して支援する体制を強化する取組
- 2) 災害発生に備え、多様な主体と連携した避難支援等の仕組みづくりを推進する取組
- 3) 社会福祉法人や民間企業、NPO法人等による地域福祉活動を活性化する取組

※計画期間 令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間

## 4. 第4次熊本市地域福祉計画・地域福祉活動計画の主な成果指標

第4次計画の成果指標のうち主なものは、次のとおりです。

### 基本方針① 地域力強化のための人材の確保・育成

- 1) 民生委員・児童委員、主任児童委員の定員充足率  
基準値：95.1% (H30) ➡ 目標値：100% (R6)
- 2) 熊本市ボランティアセンターによる研修の実施回数（年間）  
基準値：46回 (H30) ➡ 目標値：70回 (R6)

### 基本方針② 支え合いの地域づくり

- 1) 支え合い活動が推進されていると感じる民生委員・児童委員、校区社会福祉協議会関係者の割合  
基準値：現状値なし (R1) ➡ 目標値：100% (R6)
- 2) 行動計画を策定した校区社会福祉協議会数  
基準値：5校区 (R1) ➡ 目標値：95校区（地区） (R6)

### 基本方針③ 多様な主体の連携・協働の推進

- 1) 「熊本市生活自立支援センター」の新規相談受付件数  
基準値：484件 (H30) ➡ 目標値：1,200件 (R6)
- 2) 避難行動要支援者数に占める災害時要援護者数の割合  
基準値：24.2% (H30) ➡ 目標値：50.0% (R6)
- 3) 「赤い羽根共同募金」を行った団体数（年間）  
基準値：1,375団体 (H30) ➡ 目標値：1,555団体 (R6)